

オーストラリア タスマニア ウィリアム山 山旅報告書

No. 11

日程：2024年〔令和6年〕2月21日

コース：ウィリアム山カーパーク → ウィリアム山 → ウィリアム山カーパーク

20日ベンローモンド国立公園の山で厚い雲が迫ってきて、セントヘレンズのロッジに到着。

その夜から雷雨でかなりの雨が降った。

21日朝も雨は止まず、天気予報でたまたまタスマニアの北の一部分のウィリアム山付近は、雲が切れて天気がさほど悪くなさそうなので、行ってみることにした。

9時30分頃雨の中出発。

セントヘレンズから北上するに従いだんだん雨も止み、ウィリアム山に着く頃は、ところによっては青空が望める曇り空となった。



ウィリアム山カーパーク



ウィリアム山登山口







ウィリアム山 [216m] 山頂

緩い坂道から少し登ると、30分で山頂に到着。目印の鉄柱があり、遠くは霞んでいたが、まずまずの展望が望めた。

セントヘレンズの雨が嘘のようで、天気予報が的中してまずまずの登山（ハイキング）を楽しむことができた。



ウィリアム山 山頂より（天気良ければ北に位置するクラーク島等が望めるらしい）



下山後 ウィリアム山を望む



外のバーベキュー用のコンロで調理



キャップランプを使用して朝食

セントヘレンズでは雨は止んでいたものの、直近の川が増水してパトカーが監視していたが、なんとか通過することができた。

セントヘレンズは、かなりの降雨と雷で停電となっており、アパートメントに戻っても停電が回復せず、電気器具が使えないため調理ができない状況であった。

アパートメントの前のバーベキュー用のコンロが使用できたので、購入した肉等を調理。

電気なしでなんと調理し、早めに夕食を済ませます。

給湯のお湯は停電でも使えた。私の時は水しか出なかったが、他のメンバーは、お湯が出てシャワーをかけることができたらしい。

朝食は、キャップランプを使用して持参のガスヘッドとE P Iのガスで調理、キャップランプが今回唯一活用できた。停電は、翌日の昼頃まで解消しなかった。

北九州山岳同好会「嵐」

Reported by S.Okamura Photo presented by S.Okamura